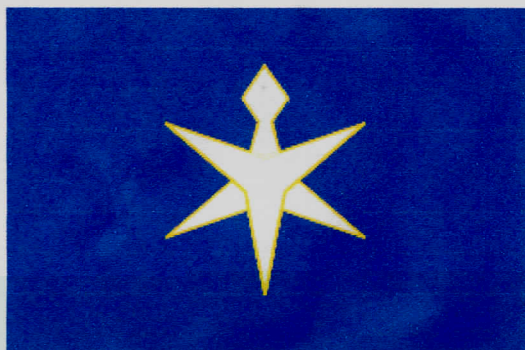


先入観

千葉県に住んで気がついたことは、県章を一見して、横須賀市の市章とよく似ているという印象でした。江戸の昔から江戸湾防備を共にした旧軍都の名残でもあろうか？などと勝手に想像していました。しかし、その後よく見比べる機会があり、両者はかなり違うもので、デザインの発想も異なり、似て非なるものと知りました。

人は無意識に幼少のころから馴染んだイメージで、第一印象を判断しがちという誤謬への警鐘となりました。

千葉県 県章



1909年（明治12）12月28日制定。片仮名の「チ」と「ハ」を組み合わせて図案化。旧東京市の市章を継承した東京都（都章としての制定は1943年）を別にすれば現在も使用されている都道府県章の中では最も古く制定されたもの。

横須賀市 市章



1912年（明治45）3月16日制定。中央は市名の頭文字「ヨコ」を三浦一族の家紋「丸に三つ引」風に抱き合せてあり、周囲は港を象徴して艦船の羅針盤。